

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8229
担当部課名	市民部	交通安全	課	
事務事業名	連合防犯協会補助金		事業コード	23220

1 総合計画における位置づけ

政策名	2 第 3 章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第 2 節	安心して暮らせるまちづくり	~63
施策名	第 2 施策	犯罪のないまちづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
防犯思想の徹底を図り、防犯意識の高揚と自警心を喚起し、各種犯罪の未然防止により、犯罪のない明るい社会の実現を期するため、相模原連合防犯協会及び相模原南連合防犯協会に補助金を交付する。		相模原連合防犯協会 相模原南連合防犯協会	
		対象数	2
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
相模原連合防犯協会 運営費補助金 6,538,000 防犯灯整備費補助金 7,921,142 (各季の地域安全運動実施、地域安全市民のつどい開催、「こども110番の家」設置<2809所>等) 相模原南連合防犯協会 運営費補助金 5,536,000 防犯灯整備費補助金 5,390,526 (各季の地域安全運動実施、地域安全市民のつどい開催、「こども110番の家」設置<1757箇所>等)		・防犯運動の実施 ・防犯関係団体の支援	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	犯罪発生件数前年度比較率		
指標式	(前年度発生件数/今年度発生件数) × 100		
指標設定の意図	前年度の犯罪発生件数より1件でも少なくすることを目標として、啓発活動の犯罪抑止の効果を表す。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	80	91	a 100	b 101	101	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	22,377	23,623	25,386	25,423	23,716
	人員・時間数	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人
	人件費	4,210	4,210	4,210	4,210	4,210
	その他経費					
	合計	26,587	27,833	29,596	29,633	27,926
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 98.8%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} \times 100 = 98.8\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
-----------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 犯罪発生件数が増加傾向にある。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 犯罪発生件数が増加傾向であり、また凶悪犯罪も発生しているため、継続していく必要がある。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 B ▼	A : 妥当である	理由： 直接的な効果が得られないため、判断基準が困難。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 補助金の交付について、市が実施するのが妥当と思われる。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由： 犯罪発生件数が増加傾向にある。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 「安心して暮らせるまちづくり」に向けて、市民の自主的な防犯活動を推進することは、有効かつ必要と思われる。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> ホームページを利用する等、啓発活動の手段を検討することで効果的な啓発活動を推進することが可能と思われる。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 参加者記念品等を見直すことで経費削減を図るよう努力する。

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	県下、他市町村とも同様の「つどい」を開催している。
		<p>今後の進め方</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
説明		各自治会を中心とした防犯活動を推進するため、今後とも本事業を継続していく必要があるが、イベントの開催規模等について見直しが可能と思われる。

8 二次評価における変更点

・「地域安全市民のつどい」の内容(アトラクションなど)について検討すべきである。